



投資パートナーシップ・プログラム (PPI) : 信頼性、予測可能性、透明性および展望



駐日ブラジル連邦共和国 特命全権大使
エドゥアルド・パエス・サボイア

1990年より外交官。ニューヨーク国連ブラジル政府代表部、ラテンアメリカ統合連合 (ALADI) ブラジル政府代表部、在ワシントンおよび在ラパスのブラジル大使館に勤務。ブラジル代表理事補佐官として世銀並びにIMFにも勤務。ブラジルでは、南米南部共同市場課、中南米統合総合管理部、財務・サービス部、外務大臣官房にて補佐官を務めた後、連邦上院外交防衛委員会外交補佐官、連邦上院政府指導部官房議会上席補佐官、外務大臣官房長を務めた。2019年3月より駐日ブラジル大使。

2016年に始まり、連邦政府によるコンセッション・民営化の主要プロジェクトを集約する投資パートナーシップ・プログラム (PPI) が、2019年より力強く進展している。同プログラムは経済活動を推進するブースターの役割を果たし、民間部門を大規模インフラ整備プロジェクトにおける重要なパートナーとしている。その観点から政府は、ビジネス環境の改善や投資誘致に不可欠なインフラ部門の決定事項に信頼性、予測可能性および透明性をもたらすよう全力を注いでいる。

同プログラムの重要性および方向性継続の現れとして、前政権でPPI特別局にてプロジェクト連携局長、国家インフラ運輸局 (DNIT) にて常任理事および局長を務めたタルシジオ・ゴメス・デ・フレイトスが現インフラ大臣となっている。

2016年5月の策定以来、PPIは国にとって重要な成果を挙げている。PPI審議会 (CPPI) より適性が認められた193件のPPIプロジェクトのうち140件の入札が完了し、実施率は約72.5%に達した。内訳は、送電・配電・発電分野が94件、高速道路1件、空港16件、港湾21件、石油・ガス分野のコンセッション7ラウンド、そしてミナスジェライス州倉庫・サイロ公社 (CASEMG) の脱国営化案件である。これら140件のプロジェクトに係る投資額は2570億レアルと推定される。事業権契約署名・授与によるボーナスという面では、前述プロジェクトは連邦政府に490億レアルをもたらしている。

プログラムへの海外投資家の参加について、インフラ整備プロジェクトの競争力強化・魅力向上のために導入されている諸改革の成果もあり、現時点までに完

了している案件 (140件) のうち、外資系企業が (国内企業とのコンソーシアムの形でも) 落札している案件が55件にのぼることは特筆すべきであろう (ドイツ、オーストラリア、バミューダ、カタール、中国、コロンビア、スペイン、米国、フランス、インド、イタリア、ノルウェー、ポルトガル、英国およびスイス)。コンセッション期間内に予定されている外国資本投資の合計額は2230億レアルで、入札済み投資総額の86.6%を占める。

なお、将来的にも、すでにPPIポートフォリオに含まれている現在進行中の入札53件に対する投資見込み額の合計は1099億レアルにのぼり、成長回復に向けたその戦略的規模がうかがえる。

短期的には、新政権発足後100日以内に23件のプロジェクトの入札が完了している。空港、港湾、鉄道分野を中心に、合計で少なくとも投資額は80億レアルにのぼる。

本年3月15日には、以下の12の空港が3ブロックに分けられ30年間のコンセッションが付与された。

- 北東部 (ペルナンブッコ州ヘシッフェ市、パラíba州ジョアオンペソア市、アラゴアス州マセイオー市、セルジッペ州アラカジュ市、セアラ州ジュアゼイロドノルテ市、パラíba州カンピナグランデ市) : スペインのアエナ社 (AENA Desarrollo Internacional) が、最低入札額 (1.71億レアル) に対するプレミアム1010%の19億レアルで落札。
- 南東部 (エスピリトサント州ヴィトリア市、リオデジャネイロ州マカエ市) : ZURICH Airport Latin America LTDAが、ブロック内2空港に対

し最低入札額（4690万リアル）の830%の4.37億リアルで落札。

- 中西部（マトグロッソ州クイアバー市、シノペ市、ホンドノポリス市、アウトフロスタ市）：Aeroeste コンソーシアムに入っているブラジル企業SOCICAM Terminais Rodoviários e Representações LTDA並びにSINART Sociedade Nacional de Apoio Rodoviário e Turístico LTDAが、4つの飛行場に対し最低入札額（80万リアル）の4739%の4000万リアルで落札。

3月22日には、4つの港湾ターミナルの競争入札が行われた（パライーバ州カベデロ港内3エリアおよびエスピリトサント州ヴィトリア港内1エリア）。カベデロ港内エリアについてはRaízen社、Ipiranga社並びにBR Distribuidora社によって構成されるNordeste コンソーシアムが落札した（内訳はばら積み液体貨物や燃料貨物の取り扱い・保管のためのエリアAI-01が602.1万リアル、エリアAE-10が1800.5万リアル、エリアAE-11が3050.3万リアル）。ヴィトリア港内エリア（VIX30）は、同3社から成る別コンソーシアム Navegantes Logísticaが1.65億リアルで落札した。コンセッション期間25年の間に同港の燃料取扱能力を年間176万トンに拡大するため、1.282億リアルの投資が見込まれている。

3月28日には、ポルトナシオナウ市（トカンチンス州）とエストレラ・ドエステ市（サンパウロ州）間の1537キロ区間を対象とした、南北鉄道のコンセッションが付与された。コザン（Cosan）グループ傘下のRumo社が、100.92%の27.19億リアルで落札した。

最後に、本年4月5日に、6つの港湾ターミナル（パラ州ベレン市に5件、ヴィラドコンデ市に1件）の入札が実施された。最低入札額1リアル、コンセッション期間は15～25年だったが、落札総額は4.5億リアルで、政府の期待を上回った。いずれもばら積み液体貨物一特に燃料—を取り扱うためのターミナルである。

今後さらに2019年末までに、25件以上のプロジェクトの入札完了が見込まれ、627億リアルの投資が期待される。

- 高速道路2本：BR 364／365号線（ミナスジェライス州／ゴイアス州）およびBR 101号線（サンタカタリーナ州）。
- 鉱業プロジェクト2件：パウメイロポリス市（トカンチンス州）における多金属鉱床の鉱業権並びにカンジオタ市（リオグランデドスウ州）における石炭鉱業権。
- 鉄道路線10本：事前延長（EFVM、EFC、

ALL MP、MRS、FCA）、中西部統合鉄道（FICO）、リオ・ヴィトリア間EF118鉄道およびサンパウロ州 Ferroanel鉄道の建設契約（交互投資）、バイーア州EF334鉄道（FIOL）、マトグロッソ州／パラ州のEF-170鉄道（Ferrogrão）。

- COMAER（空軍司令部）：COMAER統合通信網のためのPPP。
- 港湾ターミナル7件：貸与5件、投資許可2件。
- 石油・ガス分野3件：不活動な周辺蓄積（Acumulações Marginais）エリアの入札第5ラウンド（永続的提供）、有償譲渡余剰分の入札、探査ブロック第16ラウンド。
- 電力分野3件：契約延長1件、エレクトロプラス（Eletrobrás）の民営化、配電入札2件（上期1件、下期1件）。

現在の政権サイクルでは、さらに94件の有力プロジェクトがPPIとして認められることが予想されており、2022年まで高速道路（6件）、鉄道（6件）、石油・ガス（5件）、エネルギー（8件）、港湾（16件）、空港（44件）および鉱業（9件）と多様な分野でのコンセッションによる豊富な案件ポートフォリオが形成されることになる。

日伯双方の政府・企業にとって有利なプロジェクトが見つけられるに違いないと確信しているの、日本の投資家の皆様には、ブラジルのインフラ部門におけるビジネス好機を見逃さず、注意深く検討されることをお願いしたい。

現在進行中のPPIプロジェクト
(<https://www.ppi.gov.br/ppi-english>)

